



平成27年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月14日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL http://www.fc-group.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第2四半期の連結業績（平成26年12月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第2四半期	3,543	100.9	597	139.4	570	131.5	523	117.0
26年11月期第2四半期	1,764	292.4	249	310.6	246	391.9	241	382.6

(注) 包括利益 27年11月期第2四半期 542百万円 (136.0%) 26年11月期第2四半期 229百万円 (218.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第2四半期	14.06	13.71
26年11月期第2四半期	6.55	6.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年11月期第2四半期	3,661	2,104	57.4	56.18
26年11月期	2,097	1,523	72.5	41.24

(参考) 自己資本 27年11月期第2四半期 2,102百万円 26年11月期 1,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
27年11月期	—	0.00	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,755	15.5	485	77.7	458	74.1	415	65.3	11.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年11月期2Q	37,465,371株	26年11月期	37,077,371株
② 期末自己株式数	27年11月期2Q	127,500株	26年11月期	127,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年11月期2Q	37,252,431株	26年11月期2Q	36,872,289株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年12月1日～平成27年5月31日)における国内経済は、消費税増税に伴う個人消費の停滞が懸念材料となりましたが、雇用や設備投資等は改善傾向にあり、政府による経済政策や日銀の追加金融緩和、円安、原油安等の効果により、全体的には緩やかな回復傾向が続き、企業業績も順調に回復基調に向かっています。

当社グループの主要事業である不動産業界では、日銀の追加金融緩和による良好な資金調達環境を背景に不動産の取引は活性化し、J-REIT、デベロッパー等の事業会社や私募ファンドによる大規模な取引が行われる等不動産市況の回復はより鮮明になりつつあります。また、アジアをはじめとする欧米の投資マネーが日本に流入し、優良物件に投資する等の動きが見られました。太陽光発電業界におきましては、電力の固定買取制度を活用した長期安定運用ニーズ、グリーン投資減税の活用ニーズや、電力小売りの全面自由化を控え新規事業者の参入も増加する一方で、固定価格の見直しが行われる等、開発業者間の競争も高まりつつあります。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業におきましては、当第2四半期連結累計期間も引き続き、新たな不動産ファンドや投資家ニーズにあった魅力的な証券ファンドの開発に努めて参りました。その結果、第1号任意組合型不動産ファンドである「フォレンジィ門前仲町任意組合」の組成を行い、証券会社・税理士法人グループ等の顧客紹介により、富裕層顧客に販売することができました。太陽光発電ファンド事業におきましては、第3号太陽光発電ファンド「三重芸濃ソーラーファンド」、第4号太陽光発電ファンド「栃木益子ソーラーファンド」、第5号太陽光発電ファンド「熊本明德ソーラーファンド」の組成を行い、これらも証券会社・税理士法人グループ等の顧客紹介により、富裕層顧客に販売することができました。インベストメントバンク事業におきましては、販売用不動産、太陽光発電設備等の売却により、売却収益を計上することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高3,543百万円(前年同四半期比100.9%増)、営業利益597百万円(前年同四半期比139.4%増)、経常利益570百万円(前年同四半期比131.5%増)、四半期純利益523百万円(前年同四半期比117.0%増)となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第2四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は174億円(一部円換算US\$1.00=123.73円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は214億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高198百万円(前年同四半期比45.6%減)、営業利益1百万円(前年同四半期比99.0%減)となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、分譲販売用不動産等の取得及び分譲販売、ファンド組み入れ物件の取得及び売却、太陽光発電設備の開発及び売却を中心に3,310百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、有価証券の運用益、金融商品仲介業務による報酬34百万円を計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高3,344百万円(前年同四半期比139.2%増)、営業利益702百万円(前年同四半期比204.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末比、現金及び預金が237百万円、未成工事支出金が129百万円減少しましたが、たな卸資産が1,493百万円、短期貸付金が163百万円増加したこと等により、全体で1,349百万円増加し3,075百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末比、土地が192百万円増加したこと等により、全体で214百万円増加し586百万円となりました。

(負債の状況)

流動負債は、前連結会計年度末比、短期借入金が939百万円増加したこと等により、全体で894百万円増加し1,449百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末比、その他が79百万円増加したことにより、全体で88百万円増加し107百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産は、新株予約権の行使に伴う新株発行による資本金、資本剰余金76百万円の増加、四半期純利益523百万円の計上等により、前連結会計年度末比580百万円増加し2,104百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、上記のとおりであります。本資料発表時点では平成27年4月24日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。しかし、今後の業績等につきましてはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	884	647
売掛金	23	21
未収入金	16	92
有価証券	209	175
営業投資有価証券	304	320
販売用不動産	11	1,504
未成工事支出金	131	1
立替金	55	48
短期貸付金	50	214
その他	37	48
流動資産合計	1,725	3,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8	12
工具、器具及び備品(純額)	13	12
土地	151	343
有形固定資産合計	173	368
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	94	114
その他	102	101
投資その他の資産合計	196	215
固定資産合計	372	586
資産合計	2,097	3,661
負債の部		
流動負債		
短期借入金	330	1,270
未払金	149	98
未払法人税等	5	25
預り金	14	14
前受収益	-	12
その他	54	28
流動負債合計	555	1,449
固定負債		
その他	18	107
固定負債合計	18	107
負債合計	573	1,557

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,169
資本剰余金	617	655
利益剰余金	△254	231
自己株式	△7	△7
株主資本合計	1,488	2,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	51
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	33	51
新株予約権	2	2
少数株主持分	0	0
純資産合計	1,523	2,104
負債純資産合計	2,097	3,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,764	3,543
売上原価	1,260	2,513
売上総利益	503	1,030
販売費及び一般管理費	254	432
営業利益	249	597
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	2
その他	0	1
営業外収益合計	3	3
営業外費用		
支払利息	5	9
為替差損	0	-
資金調達費用	-	20
その他	0	0
営業外費用合計	6	30
経常利益	246	570
税金等調整前四半期純利益	246	570
法人税、住民税及び事業税	3	47
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	3	46
少数株主損益調整前四半期純利益	243	523
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△0
四半期純利益	241	523

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	243	523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	18
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△13	18
四半期包括利益	229	542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228	542
少数株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	246	570
減価償却費	8	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	-
受取利息及び受取配当金	△2	△42
支払利息	5	9
為替差損益 (△は益)	0	△0
固定資産除却損	0	-
売上債権の増減額 (△は増加)	9	2
有価証券の増減額 (△は増加)	△32	33
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△0	△16
たな卸資産の増減額 (△は増加)	820	△1,493
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	-	129
未収入金の増減額 (△は増加)	1	△7
立替金の増減額 (△は増加)	15	7
前払費用の増減額 (△は増加)	0	△0
差入保証金の増減額 (△は増加)	-	1
未払金の増減額 (△は減少)	64	△67
未払消費税等の増減額 (△は減少)	29	△36
預り金の増減額 (△は減少)	△14	1
その他	△11	107
小計	1,159	△800
利息及び配当金の受取額	2	42
利息の支払額	△5	△9
法人税等の支払額	△13	△106
法人税等の還付額	4	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,147	△863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2	△195
無形固定資産の取得による支出	△2	-
投資有価証券の取得による支出	△0	-
投資有価証券の売却による収入	-	5
短期貸付けによる支出	△30	△163
差入保証金の回収による収入	-	100
敷金の差入による支出	△0	-
敷金の回収による収入	0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35	△253
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	90	939
1年内返済予定の長期借入金の返済による支出	△1,226	-
新株予約権の発行による収入	2	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	76
自己株式の処分による収入	15	-
配当金の支払額	-	△36
その他	△23	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,141	979
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30	△137

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	773	784
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	742	647

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	365	1,391	6	1,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	—	—	9
計	374	1,391	6	1,773
セグメント利益又は損失(△)	111	275	△45	342

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	342
セグメント間取引消去	13
全社費用(注)	△105
四半期連結損益計算書の営業利益	249

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	198	3,310	34	3,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	—	1
計	199	3,310	34	3,544
セグメント利益	1	691	10	703

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	703
セグメント間取引消去	2
全社費用（注）	△109
四半期連結損益計算書の営業利益	597

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。